

## FIP IT BOX

Vol.19

## Contents

2002年12月25日 発行

## ■ 広がりゆくデータセンタ

"Power IDC"のコンセプト

全国に広がる"Power IDC"

セキュリティパートナーとして

～熊平製作所様事例紹介～

## 富士通エフ・アイ・ピー株式会社

東京都江東区青海2-45 (タイム24ビル)

販売推進統括部 企画調査部

連絡先 03-5531-5118 info@fip.fujitsu.com

URL http://www.fip.fujitsu.com/

IDC

## 広がりゆくデータセンタ

～ FIP のセンタコンセプトと今後の展開～

「情報システムの運用コストを減らし効率化したい」

「サーバやデータのセキュリティはしっかり守りたい」

このようなニーズを一度に実現する IDC は首都圏・関西圏からスタートし、現在は地方でも展開が進んでいます。地方分権・市民自治・地方文化を重視する「地方の時代」が進むなか、地方の事業者でも IDC 利用のニーズは拡大しています。

今号では、地域拠点の充実を図りながらビジネスを力強くサポートする FIP の "Power IDC" のコンセプトや今後の展開をご紹介します。

### コンセプト(1) 品質管理トライアングル

品質管理への取組みを客観的に評価する仕組みとして、公的機関の認証制度があります。IDCに関わる主な認証には、ISMS<sup>\*1</sup> 適合性評価制度、ISO9001、プライバシーマークなどがあります(図1)。

FIP ではこれら結びつけた「品質管理トライアングル」を推進しています(図2)。品質向上や災害対策のワークグループを組織したり、全社で定期的な教育・訓練を実施し、継続的な活動を行なっています。

\*1: Information Security Management System 情報セキュリティマネジメントシステム

また、取得時のノウハウを活用し、お客様のISMS / プライバシーマークの取得支援も行なっています。

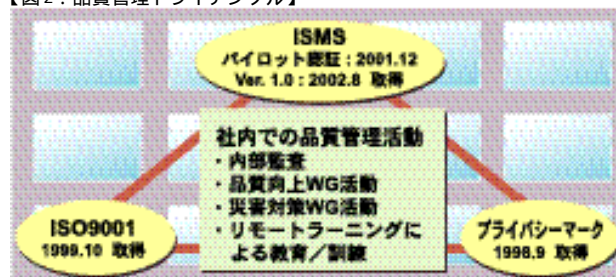
### コンセプト(2) 物理面でのセキュリティ

IDC は堅実な物理的セキュリティが特徴です。お客様の大切な情報資産を地震や停電・火災といった突然の災害から守るため、堅牢な建物と万全な設備の維持が不可欠です。

【図1: IDCに関わる主な公的認証】

名称・認定団体	内容
ISMS適合性評価制度 (財)日本情報処理開発協会	国際的に整合性のとれた情報システムのセキュリティ管理に対する適合性評価制度
ISO9001 (財)日本適合性認定協会	品質マネジメントシステムの要求事項を規定し、その実施状況を評価する国際規格
プライバシーマーク (財)日本情報処理開発協会	JISに適合したコンプライアンス・プログラムをもとに適切に個人情報を取り扱う事業者を認定する制度

【図2: 品質管理トライアングル】



“Power IDC”は耐震構造の建物に、万一の停電に備え2系統で電源を引き込み、UPS<sup>\*2</sup>や自家発電装置も設置しています。わずかな煙も感知するセンサや消火設備もあり、火災対策も万全です。

建物の入口には警備員が常駐し、媒体持出し防止装置も設置されています。各出入口では、セキュリティレベルに応じて非接触のICカードやアンチパスバック<sup>\*3</sup>による入退管理システムを導入しています。サーバ室は無窓化され、磁気媒体は持出しを常に記録し、耐火保管庫で厳重に管理しています。

\*2: Uninterruptible Power Supply (無停電電源装置)

\*3: 同じカードで2回続けて入室または退室ができない

### コンセプト(3) インターネットセキュリティ

ウィルスや不正アクセスなどの被害は跡を絶たず、確かなインターネットセキュリティへの要望は年々高まっています。IDCでは、セキュリティポリシーに基づいた管理が欠かせません。セキュリティポリシーは、取り扱う情報全般についてのセキュリティの考え方や、必要なセキュリティレベルを達成するために遵守すべき行為、判断基準などを文書化し、リスク分析・評価を行なうものです。

FIPでももちろんポリシーを策定し、定期的な教育による全社への徹底や、ルールに基づいた適正な監査を行なっています。また、さらなるセキュリティ強化のため、富士通グループの活動にも参加しています。

いつ起こるかわからないセキュリティ侵害にも即応できるよう、オペレータやヘルプデスクはもちろん、CEやSEもセンタに常駐しています。お客様のハード/ソフト資産は一元管理し、セキュリティパッチはリリース後すぐに適用しています。セキュリティ専門会社<sup>\*4</sup>と提携したセキュアソリューション「SafePort」を併用していただくことで、さらにセキュアなIDC環境がご利用いただけます。

\*4: (株)ラック様、(株)シマンテック様

### コンセプト(4) ワンストップサービス

IDCが企業活動や市民生活の社会基盤になり、お客様のニーズも多様化してきました。FIPではそれらのニーズに応えるため、システムのコンサルティング、構築から運用までのシステムライフサイクルをトータルにサポートします。24時間365日の高品質

な運用を行ない、豊富な実績と長年のノウハウをもとに、Webサイトから基幹システムまで幅広い範囲でIDCのワンストップサービスを提供しています。今後はこれまでの運用管理ノウハウを活かし、最新の技術を結集したMSPサービスも提供してまいります。

## 全国に広がる“Power IDC”

地域でのIDCのニーズは加速の傾向にあり、お客様の立地にあわせたサービスが求められています。

e-Japan重点計画の進展に伴い、地方公共団体では住民サービスの向上を目指し、アウトソーシングやセンタ共同運営が検討されています。現在はホームページやポータルサイトのサービスが中心ですが、今後はIDCを利用した電子申請や届出も行われるようになるでしょう。

“Power IDC”では、セントラルセンタや地域拠点のサテライトセンタのほか、プリンティングやブロードバンドに特化したセンタを展開しています。メールやウィルスチェックなどの共通サービス、監視サービスの集中監視はセントラルセンタで行ないますが、センタ間は高速大容量ネットワークで接続されているので、どこかのセンタでも高品質なサービスを受けられます。(図3)

【図3：全国に広がる“Power IDC”】



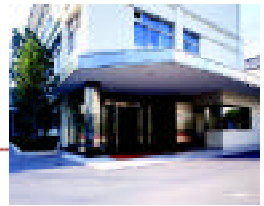
地域のお客様からは「インターネット接続と一緒に基幹システムのアウトソーシングも」という声が多く聞かれるようになりました。今後も「地方の時代」の進展とともに、地域密着型のIDCの需要はさらに増えていくと思われます。

FIPでは、お客様がセンタまでの距離や時間を気にせず利用できるよう、既存センタの充実とサテライトセンタの拡大を通じて“Power IDC”を推進していきます。

ユーザ  
訪問

# セキュリティパートナーとして

～株式会社熊平製作所様～



【熊平製作所様 本社】

創業105周年を迎える株式会社熊平製作所様(以下、熊平様)は、金庫扉では世界最大のメーカーと言われる総合セキュリティ企業です。長い歴史の中で培われた技術とノウハウをもとに、製造・研究開発を行なっています。グループが一丸となり、高品質かつ多彩な製品群と地域密着型のきめ細やかなサービスで業界をリードしています。

熊平様は防盜性を持った金融機関向け金庫の製造からスタートし、現在は入退室管理システムや監視カメラといった情報セキュリティ分野にも展開し、官公庁や病院をはじめ、業種を問わず幅広く製品を提供しています。

今回は本社(広島市南区)をご訪問し、常務取締役諏訪正照様にアウトソーシングのお話を伺ってきました。

## セキュリティ製品業界は現在どのような状況ですか。

セキュリティ市場にはIDC、ウィルス対策ソフト、ファイアウォールなども含まれますが、そのうち、防犯設備機器の市場は5,800億円といわれており、前年度比11%で伸びています。特に米国の同時多発テロ事件やピッキングによる侵入盗被害の増加などで、入退室管理装置は前年度比21%増、映像監視装置は同じく40%増となり、欧米並みに安全に投資する社会へ変化し始めています。

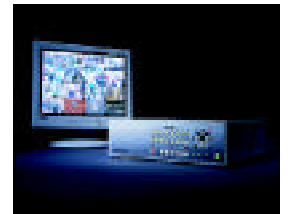
また、金融再編にともなう銀行の支店の統廃合が増えているため、当社でも金融機関向け貸金庫の受注が伸びています。貸金庫もIT化が進んでおり、当社の全自動貸金庫は、貸金庫カードをお客様が銀行に行き機械に読みこませることで金庫室にある専用の貸金庫が自動で目の前に運ばれてきます。銀行員さんの手間が省け、お客様のプライバシーも保護できるということでご好評をいただいています。

## 御社の今後の事業戦略はいかがでしょうか。

今後は情報セキュリティ分野を強化していきます。『入退室管理システムGG-1』は規模・セキュリティレベルに応じて簡単にシステムを構築できる製品で、指紋照合機や各種非接触カード、スクランブルテンキー等の機器も利用できます。虹彩や顔、静脈といった身体情報で認識するバイオメトリクス機器も展開していきます。優れた他社のバイオメトリクス機器があれば積極的に提携し、サービスのバリエーションをさらに広げたいと思っています。提携各社の機器に別々に保存されているバイオメトリクスデータを社内で一元管理し、会議出席や支社訪問など必要な時に必要な場所でユーザ認証できるようになると利便性も向上しますよね。

【デジタル録画監視システム  
ランガードSP-2】

新製品としては、世界初の150万画素のデジタル監視カメラやCCTVカメラ16台の映像をデジタル録画する『ランガードSP-2』を開発・販売しました。



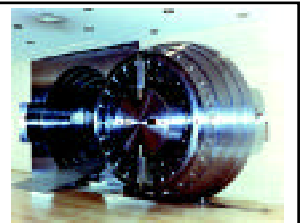
## セキュリティ機器もIT化が進んでいるのですね。社内業務のIT導入はどのようにされていますか？

IT導入による業務改善としては、製造部門におけるCADの三次元化や図面のデータベース化があります。図面をデータベース化することで図面検索を容易にし、40年も前の製品に関するお客様からのお問い合わせに迅速に対応したり、過去の図面を参考に設計する開発者の負担を削減しています。

また、営業が個人レベルで管理している提案書を一元管理し、お客様へよりよい提案をできるよう情報の共有化とCRMを進めていけたらと思っています。

クマヒラグループは販売・サービスを担当する<クマヒラ>、製品の製造・研究開発を担う<熊平製作所>で構成されています。

熊平製作所は宇品工場(本社)・千代田工場の生産拠点と宇品工場内において研究開発を行う開発本部で構成され、「守る」「収める」の2大コンセプトを軸に最先端の総合セキュリティ製品を生み出しています。



【入退室管理システム GG-1(左より指紋照合機、ログ画面)】

今回アウトソーシングを採用していただいた理由をお聞かせ下さい。

運用面では経費削減、作業効率化、リスク分散が主な目的です。運用効率を上げるために運用者の数を徐々に減らし二交代運用としていましたがそれでも非効率で、さらに運用に関わる時間を減らしたいと思っていました。以前はバッチが終了する夜遅くまでいる必要がありましたが、現在はセンタで見いただいているので待機しなくてよくなりました。マシンの性能もアップし処理も速くなりました。また、当社とFIP広島センタにサーバを置くことで、災害による全滅などのリスクを分散しています。

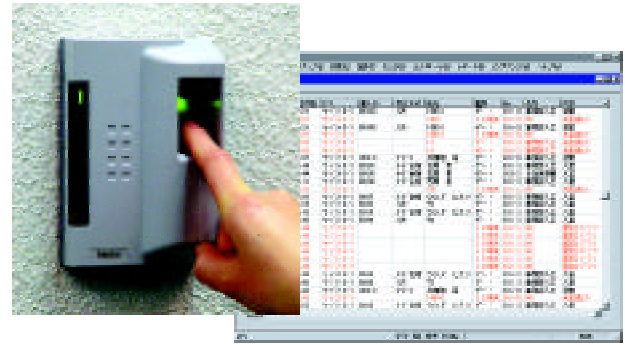
広島にセンタがあるというのも大きな理由です。地元ということで、きめ細かなSEサポートが受けられますし、何かあったときには事業所の近くにあるセンタから、夜間でもすぐに駆け付けていただけますから。

また、富士通グループへの信頼感というのも理由の一つです。「ISMS 適合性評価制度」による認証を取得済み<sup>\*5</sup>ということは、運用面の論理的セキュリティと設備面の物理的セキュリティがしっかりしているということですからね。さらにFIP広島センタには『入退室管理システムGG-1』を導入していただいていますので、当社としても安心です。

\*5: 富士通の館林システムセンタ、FIPの東京センタ・ビジネスオペレーションセンタで認証取得

アウトソーシング導入により生じた本業でのメリットについてお聞かせ下さい。

オンラインサービスの時間が増え、各開発グループの業務にあてるサービス時間が増えました。業務前・業務後のオペレーションをセンタに委託するこ



とで運用担当者の負担が軽減し、これまで運用にあてていた時間をシステム開発に回せるようになって良かったです。やはり当社のコアは企画開発にありますので。それから、ホストを置いていたスペースも有効活用できました。

今後 FIP に望まれる点などについてお聞かせ下さい。

アウトソーシング開始から間もないので、私どもの運用の手間を今後どのあたりまで減らしていただけるのかといったことを、こちらも勉強していきますので、随時相談にのっていただければと思っています。

手間のかかる部分は極力センタにアウトソーシングしていただいて、御社が企画開発に注力していただければと思います。すでに熊平様の製品を導入しセンタの信頼性を高めています。今後はパートナーとして、より高度なセキュリティの構築を進めていきます。

株式会社熊平製作所

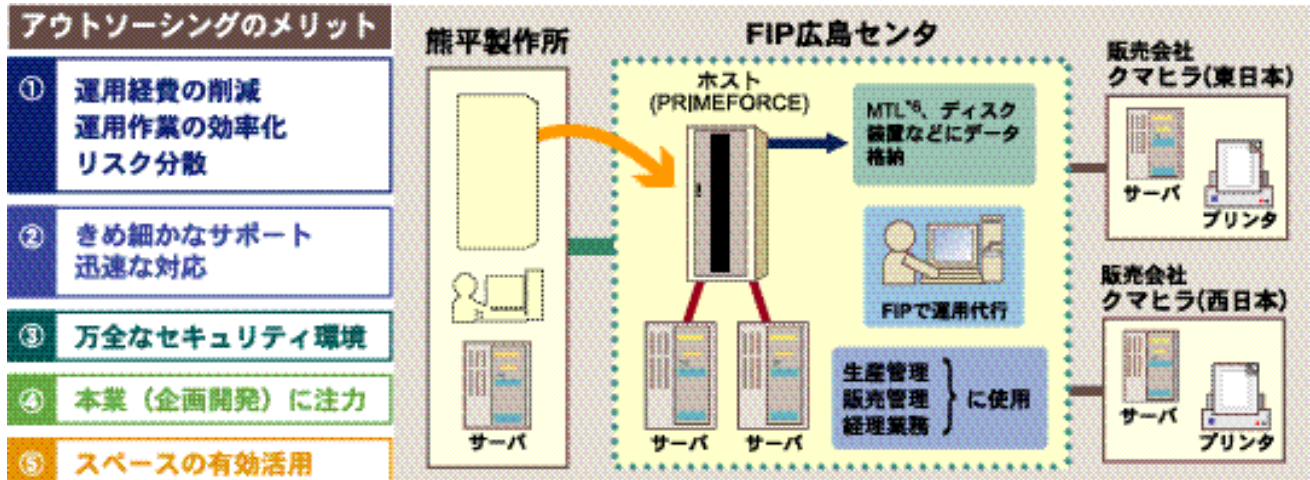
広島県広島市南区宇品東 2-4-34

TEL : 082-251-2111 (代)

URL : <http://www.kumahira.co.jp/>

主要製品 : 金庫扉、防盜金庫、入退室管理装置、  
デジタル監視カメラ機器 など

【図4：熊平製作所様アウトソーシングイメージ】



\*6: Magnetic Tape Library 磁気テープライブラリ